

2008年2月16日（土曜日）

兵キャンププログラム担当者会議議事録

兵キャンププログラム部 清水秀彦

日時 2008年2月16日（土） 13:00～15:00

場所 兵庫県民会館 ぼたんの間（7階）

参加者 15地区 26名 欠席地区：2地区（伊丹、淡路）

出席地区（者） 但馬：（奥山）、西播：（先崎）、姫路：（高見）、北播：（田先）、芦屋：（岩崎）、川西：（嶋田）、神戸：（北方）、神戸中：（高橋）、尼崎：（木下）、西宮：（中島、高田）、東灘：（奥田、大古）、神戸垂水：（川崎、牛飼）、東播：（山田、寺西、富田）、神戸北：（伊藤、岸本、南波）、宝塚：（森、竹村、日野、中道、岡野）

交通費 22,210円/13名

決定事項

- ① 3月末までに各地区から各地区提供の101活動計画書をプログラム部へ提出する。また参加予定人数が必要な場合は、計画書に記載し注意を呼びかける。
- ② 16地区提供プログラム（101活動）にて優秀班を各地区が全期間で1個班選び、閉会式前に表彰する。（お願い：対象隊、班への通知を各地区でお願いします。）
- ③ 101活動（大会期間中の総得点）の優秀班を選び、閉会式前に表彰する。
- ④ 101活動
 - ・参加スカウトに不利となることのないよう、評価基準は期間中変更しない。
 - ・ポイント制とし総（最高）得点は25点とする。（スカウト取得18点、班取得7点）
 - ・4つの級別プログラムを提供する。（菊、1級、2級、初級）
 - ・取得評価点のめやすは、3点：当該級以上、2：当該級相当、1：もう少し頑張る
 - ・集計は各級別取得スカウトの上位6名を班の取得点とする。（最高18点、最低6点）
また6名未満時は、取得点最下位者の得点を加算し6名とし、7、8位は対象外とする。
 - ・60分/プログラム（移動時間を含み受付、ゲーム、採点、移動等55分を見込む）
 - ・各プログラム費用として1～2万円を予定
 - ・不公平がないように、各地区は記録をしっかりとること。
 - ・同じプログラムへの参加は不可とする。
 - ・提供時間帯：101活動①～101活動⑤の5コマとする。

#	1	2	3	4	5
日付	8月8日	8月9日	8月10日	8月11日	8月12日
午前	入場	101活動①	宗教儀礼	101活動④	徹営・退場
午後	設営	101活動②	101活動③	101活動⑤	
夜間	開会式		大営火	表彰閉会式	

- ⑤ 場外プログラムは震災記念館で、2時間程度を予定。（0.5コマ）
- ⑥ 101手帳を各スカウトに配布し取得点（評価）を明確にし挑戦意欲を啓発する。
- ⑦ 個別の検討事項は地区コミッショナーと相談し、メール等でプログラム部と連携する。

- ⑧ 各地区作成の計画書には以下の事項を記載することを予定する。フォーマット等は改めてプログラム部から案内する。
- プログラム名、目的、期間中の参加受入れ班数・人数、1回の受入班数、人数、日時・時間、担当地区、場所、参考資料、スカウト携行品、種目認定（得点方法、班評価など）、内容（プログラムの概要他）、服装、安全、隊長への依頼等
- ⑨ 次回のプログラム担当者会議は6月14日（土）（場所は未定）とする。

主な紹介事項（約30分）

- ① 地区コミッショナー会議配布資料（2008年1月13日）により、次年度の県下活動（全国大会、10NA、兵キャン）を紹介。とりわけベンチャー活動への期待が大きいこと。（10NA参加締切は2月10日であったが、当会議参加者の半数が申し込みを済ませていた。）
- ② 第16回兵庫連盟野営大会開催行程表により、経緯、今後の進め方の紹介。
- ③ 兵キャン参加予定者概数集計により、2月13日時点の申込み状況紹介。
- ④ 基本実施要綱（案）Ver0.4にて、実施要綱の概要と関連部分を紹介
開催趣旨、テーマ、場所（当会議参加者の約半数が開催場所を訪問済み）、規模、参加費、申込（予定、確定）、SCの区分（4名のプログラム担当者/各地区）、参加隊の編成、プログラム参加、調理にはプロパンガス使用（班活動重視の視点から炊事をブタンガスで実施する場合は参加隊独自で準備すること）、全体行事、参加隊活動（隊活動、班活動）、標準日程、優秀班を目指す活動（通称…「101活動」）、その他
- ⑤ 第14回大会（神鍋）で各地区より提供いただけたプログラム表で提供内容の概要紹介。
- ⑥ 今般のプログラムのねらい紹介：県下ボーイ隊の現状をかんがみ、初級スカウトが多いことが見込まれるが、各級のスカウト全員が何らかの形で評価点（取得点）を通して班へ貢献できることをねらった。ひいては全てのスカウトが16プログラム（スカウト技能、知識の基本）もあり、様々で得意なプログラムで実力を発揮できていると思っている。

意見・追加紹介等（発問順ではない）

- ① 級別プログラム提供の基準は？ → 技能面を評価の対象とするが以下の“各級のねらい”を参照頂きたい。また具体的には所属隊のスカウト等の状況から各地区で判断してほしい。（会議当日は明確に紹介できなかったが、『進歩課程の進め方記載』隊長ハンドブック別冊の各級のねらいを以下に紹介する。）

・ボーイスカウト：「ちかい」を立てて入隊し、ボーイスカウトとしての基礎を習得し、活動になじんでいくスカウト。
・初級スカウト：班の一員としてスカウト活動にも慣れ、徐々に技能を身につけ、自分のことが自分で出来る。
・2級スカウト：班の中堅として、他のスカウトの仲間の面倒がみられる。（例えばボーイスカウトを初級に）また、隊や班のハイキングが楽しくできる。
・1級スカウト：一人前のスカウトとして、キャンプができ、班長・次長として指導ができる。身につけたスカウト技能によって自信をもち、スカウト活動の楽しさを味わえる。
・菊スカウト：1級スカウトとしての化件を積んだ後、さらに野外の技能を磨き、上級班長・隊付として指導的立場で活躍できる。

- ② 野外料理プログラムの担当であるが、まきなどが使用できるのか？ →特別エリアを設け対応する方向である。
- ③ 担当プログラムを実施する場合、“なた”などを参加者に持参願えるか？ →計画書に記載し予め案内をすること。あるいは地区で用意できる状況を計画書に記載すること。またひとつのプログラムは60分で大変忙しいため実技面の内容を検討いただければどうか。
- ④ 個人の技能面に対する評価が主となっており、班活動への評価が生かされていない。→協議後、上記結論④101活動に班取得ポイントを追加した。
- ⑤ 場外プログラムを除き、仮に5コマすべてで最高点を習得したとすると、16プログラム×(3点×6名+7点)で400点が最高点となる。
- ⑥ 101活動の採点を平均点にしてみてもどうか？→加算だけの方が電卓不要で暗算が可能となるため担当者の業務負担軽減を狙う。
- ⑦ 地区で判断することであるが、101活動時間隊の例として以下のごとくで最大開催会数は6回/日提供となる。(9時～、10時～、13時～、14時～、15時～、16時～/日)
- ⑧ 世界ジャンボリーにおけるプログラム提供、展開方法などの紹介
- ⑨ 合同野営であるため、隊独自の活動を推進する場合もあるが、スカウト活動(班集会、班長会議等の過程をへたもの)であれば何ら問題ない。
- ⑩ その他(地区の状況等をコミッショナーの皆さんと協議し、スカウトたちに楽しいプログラムを提供してもらいたい)

以上